

赤外域波長のビーム径・品質を分析・解析、

「LaseView-CA35-NIR 1550 カメラセット」を11月4日（木）より発売



このたび株式会社光響（本社：京都府京都市、代表取締役：住村和彦）は、レーザービーム径、M<sup>2</sup>ビーム品質等の測定に用いる「LaseView カメラセットシリーズ（\*1）」の新製品「[LaseView-CA35-NIR 1550 カメラセット](#)」を開発し、11/4（木）より発売致します。

本製品は、既存の「[LaseView-CA-SWIR（測定波長:900 - 1700 nm）](#)」の波長域のうち、主に赤外領域（1460 - 1620 nm）の波長測定・解析に特化したものです。搭載機能の見直しにより、赤外領域の光解析時の画質を既存比の約15倍（\*1）へ高め、最小ビーム径を改善する一方、価格は約半値以下を実現しました。

赤外領域の波長は、赤外線センサ、サーモグラフィ等、日常生活に於ける汎用製品にも幅広く用いられ、本製品が製品開発・性能検査等に用いられることで、機能・品質の維持・向上が期待できます。

（\*1）LaseView カメラセットシリーズ：

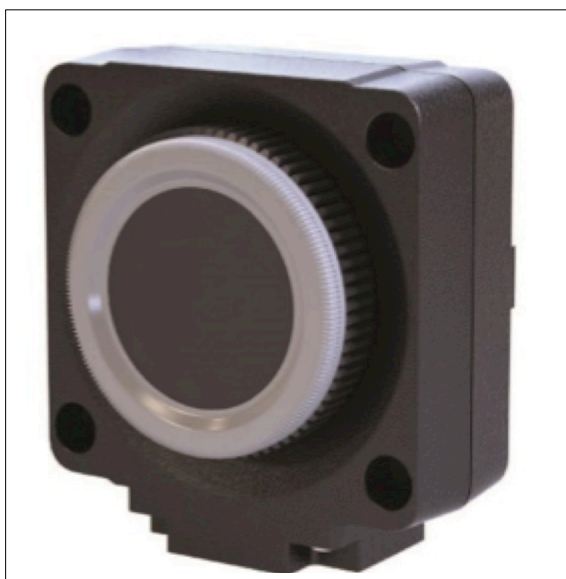
LaseView-CA-SWIR カメラセット（従来品）	
測定波長	900 - 1700 nm (NIR)
ビーム径	120 μm - 5 mm
画素数	81,920 (=320 x 256)

約15倍向上

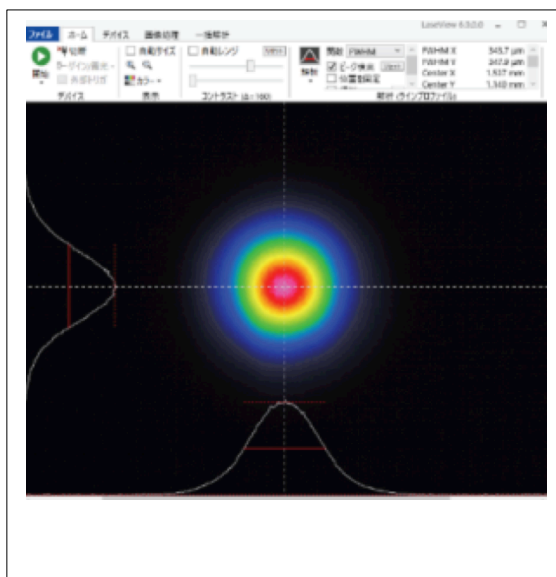
LaseView-CA35-NIR 1550 カメラセット（本製品）	
測定波長	1460 - 1620 nm
ビーム径	30 μm - 3.5 mm
画素数	1,249,344 (= 1,296 x 964)

■製品イメージ：

LaseView-CA35-NIR 1550 カメラ



LaseView6 の画面



■特長：

- ・波長：1460 – 1620 nm
- ・ビーム径測定可能（ビーム径：30  $\mu\text{m}$  – 3.5 mm)
- ・ $M^2$ ビーム品質の解析機能付き
- ・ビーム広がり角の解析機能付き
- ・画像ロギング機能付き
- ・ビームポインティング経時変化の解析機能付き

参考動画の URL

<https://www.youtube.com/watch?v=HY9vcggcs5M>

■用途：

- ・光通信、リモートセンシング製品の開発・検査、
- ・加熱・保温器具の開発・検査、

■製品概要：

- ・製品名 : LaseView-CA35-NIR1550 カメラセット

<https://www.symphotony.com/products/laseview/cameraset/#LaseView-CA35-NIR1550>

- ・価格と納期 : お問い合わせ下さい

株式会社光響では、今後もレーザー産業の活性化に貢献し、レーザー技術による 5 大革命（情報革命・医療革命・食料革命・環境革命・エネルギー革命）の促進を支援して参ります。

本製品・本プレスリリースに関するお問い合わせ Email : [info@symphotony.com](mailto:info@symphotony.com)

会社名：株式会社光響

本社所在地：京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 637 番地  
第5長谷ビル2F

HP : <https://www.symphotony.com>

事業内容

- ・レーザー製品に関する企画、設計、開発、製造、販売
- ・光技術情報プラットフォームサイトの運営
- ・レーザー業界における人材紹介